



進路懇談会 と 「明朗・友愛・自立」

校長 鶴田 欽也

夏至を過ぎ、小暑、大暑と本格的な夏も目前。夜明け前、鳥はさえずり始めます。つばめは巣立ち、賑やかだった巣は再び空き家となりました。庭では、すずめが我が物顔で飛んだり跳ねたり、水田には、かもの親子が稲と稲の間を一行に並んで進んでいます。

7月6日夕方、大雨特別警報が発令され、本当にこれまでに経験したことのない大雨が降りました。熊本県、大分県、福岡県では、多くの尊い命が一瞬にして失われました。改めて自然の力と、文明がどんなに発展しても自然を前にすると、人間はいかに非力なのかを思い知らされました。

新型コロナウイルス感染についてはここにきて拡大傾向にあり、まだまだ予断を許さない状況です。これまでさまざまな対応を行いつつも、5月14日の学校再開以降、通常に近い教育活動を行うことができ、おかげさまで1学期末を迎えることができました。

■ 進路懇談会

6月26日（金）の午後、高等部と理療科の生徒対象の進路懇談会を開催しました。本年も座談会形式で、講師には「さやのもと治療院・整骨院」の小林英二さん（本校OB）、「すずの気治療院」の江頭正幸さん（本校OB）と、一般社団法人「広島ブレイルセンター」の組地清志さん、の三名の先生においでいただきました。

「進路決定にいたる経緯」「今の仕事のやりがい」「心がけていること」といったテーマを中心に、お話をお伺いしました。お三方とも異口同音に、さまざまな創意工夫を行い、地道に努力を積み重ね、今の自分があると語られました。これからあとに続く生徒のために、ご自分の人生を率直に語っていただき、私自身、生きる指針を示してくださったと同時に、勇気や元気をいただきました。とても有意義なひと時となりました。一部ですが、生徒のみなさんへのメッセージを紹介します。

- ・決して向上心を忘れることなく、小さなことを積み重ねることが大切。
- ・「学び続ける」ことが自分の生き甲斐になっている。
- ・仕事をしていて苦勞と感じたことはない。自分が前向きに取り組んでいけば、周囲も必ず協力してくれる。
- ・今やっていることを誠実にやる。堅実にやる。大きなことでなくとも少しずつでもいいのでやり続けること。
- ・自分本位ではなく、心が利用者のかたに向いていることが大切。少しでも他の人の役に立つことを考える。
- ・進路決定では、他人が敷いたレールではなく、自分が納得した進路に進んでほしい。

■ 「明朗・友愛・自立」

本校の学校教育目標は、「視覚に障害のある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援を行い、自立と社会参加及び心豊かな人格の形成を目指す」ですが、さらにもう一つ、校訓ともいえるべき「明朗・友愛・自立」があります。

この「明朗・友愛・自立」は、「学校要覧」には今から13年前の平成19年度から掲載されています。先日、制定の経緯などを私なりに調べてみましたが、よくわかりませんでした。もしご存知の方がいらっしゃれば、ご一報くださるとたいへんありがたいです。

現在も「明朗・友愛・自立」は、本校の普通教室に掲げられています。本校が平成27年6月1日に設立した「目の支援センター」は、「ゆうあい」と名付けられています。また、九盲体育大会や九盲音楽大会で着用する生徒会のお揃いのTシャツには、英語訳した“Cheerfulness, Friendship, Independence”がプリントしてあります。このように、「明朗・友愛・自立」は現在も受け継がれ、本校のいろいろなところで親しまれ、児童生徒や職員の心の支えとなっています。

体温計について

昨今のコロナウイルス対策でニーズが高まっているものに体温計があります。体温計の測定結果が読みづらいと感じる人には「音声体温計」がおすすめです。測定結果を知らせるのはもちろん、「測ってください」などの操作案内もしてくれます。また、中には音声に加えて、測定の開始や終了を振動で伝えるものもあります。表示も明るく、大きめになっています。



幼小小学部

プールの学習が中止になった学校も多い中、本校では個別指導を中心に実施しています。

最初、久しぶりのプールに慣れず、緊張したり、恐る恐るだった子どもたちも、回を重ねるごとに慣れ、顔を浸けたりもぐったり、足のつかない大プールに行ったり、のびのび泳いでいます。昨年より、より長く泳いだりもぐったりできるよう目標を決めて取り組んでいます。



中学部

1学期の期末考査が終わりました。

1年生にとっては初めての定期考査でした。事前学習では、小学校までの単元ごとのテストとは違い、広い範囲の復習が必要なことや、先輩たちからのアドバイスを聞き、目標や学習計画を立ててがんばりました！結果はどうだったでしょう？

しっかり反省をして、2学期の学習に生かしたいと思います。

先輩からのアドバイス…
「わからない問題はとばす」
「見直しをすることが大事」



学部朝礼のスピーチで、定期考査の反省を発表中！



高等部

【ジョブティーチャー指導】

6月19日と7月3日に普通科1組のジョブティーチャー指導が行われました。講師はハローワーク佐賀より2名の先生に来ていただきました。就職・進学における面接指導を2回受け、挨拶等の基本的な礼儀はできるようになりました。「PR、好きなこと、自分の強みなどを述べる時に、それが仕事にどんな風に生かせるかを考えて、エピソードとして付け加えるといい」や「マイナス面を述べる時は、必ず、プラス面につなげること」等の助言をいただきました。今後の面接に生かしてほしいと思います。



寄宿舎

7月15日に地震避難訓練を行いました。今年度から寄宿舎にも防災頭巾がそれぞれの部屋で準備されています。訓練では地震の放送を聞き、揺れが治まるまで部屋で身を守り、職員の声掛けや誘導とともに、それぞれが防災頭巾を被って、足元の悪い中、全員が寄宿舎前に一次避難し、二次避難場所となる体育館に移動しました。防災トイレ前を通っての体育館への避難のため、三段ほど階段がありますが、職員の声掛けなどをしっかりと聞き、気を付けて避難することができました。

今年は熊本豪雨災害もあり、自然災害への注意も今まで以上に必要となってきました。

寄宿舎では非常時に舎生がスムーズに避難できるよう年に3回の避難訓練に取り組んでいます。今後も一つ一つの訓練をしっかりと行い、非常時に慌てることなく避難できるよう安全確保に努めていきたいと思います。



見えないことや見えにくいことで困っていませんか？
「目の支援センター ゆうあい」へ相談してみましょう。
相談は無料です。秘密は厳守します。
相談しても、盲学校に転入学する必要はありません。

佐賀県立盲学校
目の支援センター
ゆうあい
TEL 0952 - 23 - 4672

